

鶴岡ロータリークラブ会報

821

1975-9-16 No.12

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさこや
例会日 毎週火曜日 午後 12.30～1.30
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235(22)5775
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 勲

◆ 点 鐘

◆ ロータリーソング (それこそロータリー)

◆ ビジターゲスト紹介

◆ 会長報告

- ◆ 9月14日～20日まで世界理解週間であります。次週例会に関連プログラムを予定します
- ◆ 9月23日5時より産業会館に於いて第2回クラブ協議会を開催します。各委員長は義務出席であります。公式訪問準備。7月～9月活動報告。10月～12月計画の具体化。情報研究会「各部門別あなたのクラブを採点する」の検討
- ◆ 張紹淵君が財団に対する多大の貢献により表彰状を贈られました —— 会長より伝達 (後述)
- ◆ 交換学生 伊藤久美さんよりお便り (後述)

◆ 張紹淵君の挨拶

- 故生妹葬儀の節の会員諸兄に対する御礼
- 財団よりの表彰は鶴岡RC全体の名誉として受取りたいとの趣旨

◆ 幹事報告

- ◆ 山形西RC年次大会打合せのため9月22日PM12時30分市民会館に変更
- ◆ 355地区北茨城RC認証状伝達式 10月12日 北茨城高校
- ◆ 368地区豊岡内山川RC認証状伝達式 西村屋 城崎グランドホテル 10月26日
- ◆ ロータリーソング楽譜等 (¥300) ロータリーダイアリー (¥1,000) の申込を受けます

◆ ロータリー情報研究会報告 —— 会長

◆ 委員会報告

- ◆ 青少年委員会 —— 安藤定助委員長 (後述)
- ◆ 会報委員会 —— 小野寺委員長 (ユーモアを混え会報原橋依頼スピーチ)
- ◆ 親睦委員会 —— 板垣親睦委員長 (湖畔で緑に親しむ会出席勧誘)

◆ 出席報告

◆ 点 鐘

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING 人間に威信を!

張 紹 淵 君

世界のよりよい理解、新しい人間関係を作るための献身的な貴君の努力に対し
て表彰します。

ロータリー財団理事長

ウィリアム E ウォーク ジュニア

ロータリー情報研究会報告

9月12日 AM9:30~PM4:00

於 山形新聞放送会館

会長 佐藤 忠

カウンセラー PG 原 享二君

(長野県飯田RC)

出席者 情報、会員増強、広報、青
少年各委員長及び会長

○第1グループ「ロータリー情報」

リーダー 大原 PG

新会員には努めて全ゆる会合に対し出席
を推奨し、又参考文献資料を提供して、早
くロータリーを知って戴くこと、又古参会
員にも再度勉強されるよう要請ありました

○第2グループ「広報」リーダー 庄司 PG

地域の人々にロータリーを正しく理解し
てもらい、そして好意と支持を得るための
ものであり、広報はロータリー活動の目的
ではなく、その手段としての必要性を強調
されました。そして地域社会は何を必要と
しているかをとらえ、効果ある社会奉仕を
やり、これを広報する。例えば講演会の開
催等も効果的であると思う。

○第3グループ「会員増強」

リーダー 早坂 PG

新会員の質、特に若い人を求めることが
必要である。我々は独善的であったり、排
他主義であったり、過剰なエリート意識を
持つてはならない。ポールハリス創立当時
を考える必要がある。経済的に決して恵ま
れたグループではなかったのである。

毎年退会者は会員総数の約10% (健康上
の理由6 死亡13 職業分類上12 事業所
転動30 欠席17 その他21) その中の欠席
とその他38%の要因は会員の無気力、会長
の指導力の問題、委員会活動の減退、会員
の老齢化が考えられる。ロータリーは宗教
にあらざる宗教として個々が修養の場とし
て得し、身につけることが大切であると
強調されました。

○第4グループ「青少年奉仕」

リーダー 平松 GN

最も価値ある資源としての青少年、この
健全な育成のためRIは今年度から特に委
員長に役員(理事)を充当するよう推奨して
おります。そして委員長は青少年と共に
活動されるよう充分な時間と情熱をかけな

ければならない。

◎世界のICとRACの情報

IC 69ヶ国 286地区 3,266クラブ
71,852人RAC 65ヶ国 231地区 2,102クラブ
42,080人

(以上は原カウンセラーのお話から)

委員会報告 委員長 中野 清 吾

青少年委員会 報告者 安藤 定 助

第7回山形県カプラリー庄内地区派遣激励

日本ボーイスカウト山形県連盟並びに山形
県教育委員会主催のもとにボーイスカウト運
動の理解は地域の方々に急速に深まりつつあ
り、スカウト自体も“仲間をよぼう”の合言葉
で県内各地でスカウト活動が展開されていま
すが、県内カプスカウト(小学3年~5年)
の交歓による友情とスカウトとしての高まり
カプ隊未組織団のカプ隊誕生の機会となるこ
とを願って下記の通りカプラリーが開催され
庄内地区3隊より指導者5名スカウト25名が
参加し之を激励した。

期日 昭和50年9月14日(日)~15日(月)

1泊2日

場所 新庄市東山青年センター 市体育館

「第7回鶴岡市学生ボランティアの集い後援」

後援恒例の上記集いが下記の通り開催され
安藤委員が参加し、講演(「本当の奉仕につ
いて」)、分科会の助言、顧問教師と今後の
運営についての協議を行い集会の費用を援助
する等後援し感謝された。

日 時 昭和50年9月15日(月)

AM9:30~PM4:00

場 所 鶴岡家政高等学校

主 催 第7回鶴岡市学生ボランティアの
集い実行委員会

(本年度ホスト 鶴岡家政高若竹の会)

テーマ 「高校生のボランティア活動」

(自分たちのボランティアサークルの
活動をもう一度振り返って見よう)

参加グループ

松ぼっくりの会(鶴岡北高20名)

つくしクラブ(鶴岡家庭学院6名)

鶴岡工業高校インターアクトクラブ

(16名)

手をつなぐ会（鶴岡南高10名）
 鶴岡高専校インターアクトクラブ(34名)
 若竹の会（鶴岡家政高15名）
 鶴岡西高校インターアクトクラブ(11名)
 つくし会（鶴岡商業高校23名）
 特に私達が感じた事は、学生ボランティア

活動に関して顧問教師のいない会もある様であったが、顧問教師の連絡協議会をローターが主催したら、もっとこの様なボランティア活動も方向性を持ち、盛り上がりが見られるのではないかと考えた次第である。

パンの脹らみ

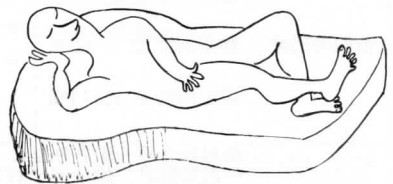
上野三郎

7月下旬の例会で会報委員長の小野寺さんから「私の労務感」と題名まで書いた原稿用紙数枚を渡されたが、連日の暑さの中ではとても筆をとる気にもなれずに居った処、度重なるご催促に、止むなく題名を変えて駄文を綴り責を免れることにした次第。

口のわるい友達に「パン屋は、小さい生地を大きく脹らまして売るんだからうまい商売だ」と云われることがある。勿論これは冗談で云うことだが、本来、パンというのは酵母の働きで脹らんだ小麦粉製品をいうのだから、脹らまないものはすでにパンとは云えない。良いパンというのは良く脹らんでいるだけでなく、その香り、味、形、触感、焼色、艶などのすべての点で良く出来上っているパンを云うわけだが、良く脹らんだパンは、風味においても大体は優れていることは経験から知られている。ここで「良く脹らんだ」というのは、決して大きく脹れていることではなく、次に述べるスダチ（気泡）が細かく数多くあり、その膜の一枚一枚が薄く充分に展びていることをいうので念のために。

さて、食パンを切ってみると、その断面に蜂の巣状の沢山のスダチが見えるが、あれが脹らみの出来上がった状態である。今、拡大した一つのスダチを頭の中に書き、同時にわれわれがチューインガムを脹らますときのことをご想像願いたい。云うまでもなく、脹らんだチューインガムは、中に吹き込まれた空気と、それを包むガムの二つから出来ている。パンの場合、脹らます空気当るものはイースト（酵母）と糖分によってつくられる。即ち、イーストのもつ酵素が糖分を分解して出来る炭酸ガスがそれである。この分解と一緒に出来るアルコールや酸、エステル等の芳香物質は窯の熱でパンの内部にくまなく充満して、あのパン特有の香りをつくり出す。一方、ガムに相当するものは、小麦粉と水によってつくられる。水を加えた小麦粉をよく捏るとグルテンと呼ばれるトリモチ状の弾力のあるものができる。これが、盛んに発生するガスを外に逃がさないように包みながら、だんだん脹らむわけである。従って、パンをつくるには、小麦粉、水、イースト、砂糖の四つは、原料として最小限どうしても必要なものである。内部からのガスの発生が盛んであればある程、又グルテンの展びがよければよい程よく脹らんだパンができる。しかし、ガスの発生が良好でも、グルテン膜の展びが不良では膜が破れて穴のあいたパンができるし、反対にガスの発生が不十分では良質のグルテンでも脹らみようがない。ガス発生とグルテンの展びは両方そろって充分でないと、よく脹らんだパンにならない。

以上は、パンが脹らむことの原理を述べたにすぎないが、実際のパンづくりには、いろいろのむづかしさがある。パンづくりのむづかしい理由の大半は、イーストが生きものだということにあるように思う。大きさが1ミリの千分の1程度の単細胞のこの微生物は、温度には敏感で、摂氏7度以下では休眠し、25度前後では大変ご気嫌がよく醗酵活動をし、35度前後では興奮状態になり60度では5秒間で死滅する。イーストのこういう性質をよくわきまえた上で、工程の流れに要する時間や、生地の温度に充分気を配りながら作業を進める。一旦ミキサーをまわして生地づくり



を始めたらずり直しがきかないし、上昇してしまった生地温度は下げる術がない。だから、その時の室温や小麦粉自体の温度、イーストの状態、ミキシングの摩擦で上昇するだろう温度醗酵によって出る熱などを総合的に考えた上で、捏ね上げた生地温度が28度前後になるように逆算して仕込みの水の温度を決める。そのため、夏には氷水を、又冬には温水を仕込み水に使うこともある。

一方、ガスを包むグルテンの方も、原料小麦の種類によってその量や展びる強さがちがうし又製粉してからの期間によっても違ってくる。これらをよくのみ込んだ上で、ミキシングの時間や強さを調節する必要がある。ミキサーで捏ね上げられ予定通り28度前後に出来上がった生地は、その後の、生地の分割や整形やホイロなどの工程のあいだ中、温度の変化や湿度の状態に気を配りながら、丁度気むづかしい赤ん坊でも扱うように、イーストの気嫌を損ねないように注意深く取扱われる。

イーストのご気嫌具合の反映であるガス発生量と、それを包むグルテンの展び具合が、窯に入る直前に、両方そろって頂点に達して居れば、大体8分通り良く脹らんだ良いパンが得られると云えよう。

端的に云って良く脹らんだパンは良いパンだと云える。良いパンはお客様に喜ばれる。お客様に喜ばれる店は繁昌し、従って従業員は仕事に張りがでて、益々良く脹らむパンの勉強をするという理屈からすると、私の職業奉仕の成否はパンの脹らみ如何にかかっていると云えようか。

50. 9. 15

交換学生 伊藤久美さんより 第2信

拝啓お変わりありませんか。

今日から学校が始まりました。私は、数学英語、歴史、体育、料理そして美術を勉強します。まともにも英語が理解できないのにさらに他のことを学ぶのはたいへん難しいことです。もちろん何をやっているのか何を話しているかさえわからないのです。だからいつも質問のし通しです。何度聞いてもわからない時は先生の方が諦めるようです。学校に行くことによってたくさんの人たちと友達になりました。みんな親切な人たちばかりです。でも日本人のように特別にちやほやしたりしません。その点は敵しいようです。何をすることも自分自身から進んでしなければ取り残され

てしまいます。だからアメリカに来て積極的になりました。

ところで今日の夕食はロータリーの例会でとりました。イーストハンプトンのロータリークラブの人たちはたいへん陽気でどんな時でも冗談を言っています。私のことをたいへん歓迎してくれました。用意しておいたスピーチもなんとか相手に通じ喜んでもらえました。私の話す言葉が通じることがたいへん心配でしたがお世辞かどうかしらないけれどほめてくれたので私自身も喜んでいました。これからどんなことが起るかかわからないけれどもなんとかがんばるつもりでいます。まだホームシックにもかかかっていませんのでその点はまだ心配ないようです。

出 席 報 告

本日の出席	会 員 数 72名 出 席 数 54名 出 席 率 75.00%	欠席者	阿宗君、早坂(徳)君、五十嵐(伊)君、玉城君、風間君、嶺岸君、中江君、齋藤(栄)君、齋藤(信)君、佐藤(昇)君、佐藤(衛)君、新穂君、進藤君、高橋(正)君、佐藤(宇)君、津田君、清水君、山本君
前回の出席	前回出席率 51.11% 修正出席数 62名 確定出席率 86.11%	メーク アップ	進藤君—山形形RC 藪田君—気仙沼RC 富樫君、佐藤(友)君—立川RC 阿部(襄)君、早坂(源)君、石黒君、三井(徹)君 三井(健)君、吉野君、皆川君—余目RC 風間君—酒田RC 佐藤(忠)君—酒田東RC 張君、半田君、板垣君、上林君、小花君、今野君、嶺岸君、三井(賢)君、佐藤(衛)君、鈴木(善)君、横山君—鶴岡西RC 玉城君—外国RC
ビジター	奥村知介君—習志野RC 佐蔵勤一君、加賀山隆士君、羽根田正吉君、菅沢久弥君、佐藤成生君—鶴岡西RC		池田好雄君—立川RC